



授業づくりの視点

各教科等で児童が学んだ知識や技能を、教師が関連付けて整理しておき、特別活動における集団及び個人の問題解決のために活用できるようにしましょう。

学級活動（１）では、「事前の活動」「本時の活動」「事後の活動」といった一連の活動を児童が主体的に行うことによって、自発的、自治的な学級の生活づくりが展開されることとなります。学習過程を明確にした授業づくりを行いましょう。

授業実践事例

1 議題の概要 卒業アルバムの学級ページを考えよう【第6学年】 学級活動（１）

小学校生活の思い出が形として残る卒業アルバムの学級ページについて、友達の意見を否定するのではなく、どのような価値があるのかに目を向けながら話し合い、学級全体にとってよりよい合意形成を行い、決まったことについて友達と協力して取組を進める議題である。

2 活動を通して育成を目指す資質・能力

知識及び技能

卒業アルバムの価値や、卒業アルバムの学級ページの内容について、学級全体としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方等について理解する。

思考力、判断力、表現力等

卒業アルバムの学級ページの内容を話し合う中で、自分の役割や責任、学級全体としてのよりよい内容や方法等について考え、互いに信頼し支え合って実践する。

学びに向かう力、人間性等

卒業アルバムの学級ページづくりに関心を持ち、友達と協力して話し合ったり、実際にページを作成したりすることに取り組もうとする。

3 活動のデザイン

本活動の流れ	児童の学びの姿
○事前の活動 活動の見通しをもつ	◎議題である卒業アルバムの学級ページについてのイメージをつかむ。 ・家族にインタビューしてみると、卒業アルバムの大切さがよく分かった。 ・自分たちにとって価値ある内容を載せるために、みんなで話し合いを深めたい。
○本時の活動 みんなで話し合っ て合意形成をする	◎みんなでよりよい学級ページの内容を決める。 ・様々な意見が挙がってきたが、意見を組み合わせたり、よいところを基にして新たな意見を生み出したりすると、自分にとってもみんなにとってもよいものに決めることができるんだな。
○事後の活動 活動について振り返り、 まとめる	◎決まったことを基に、学級ページに載せる具体的な内容やデザインを決め、アルバムを作成して振り返る。 ・現在の素直な思いを学級ページに書くことで、将来、卒業アルバムを見た時にきつとなつかしく思えるだろう。 ・自分事として本気で話し合うことができたから、すてきなアルバムになったぞ。

○本活動における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

主体的な学び

- 卒業アルバムについて、家族にインタビューしたり、家族から卒業アルバムを見せてもらったりする場を設定する。
- 提案理由や話し合いのめあて等を掲示して見通しをもたせる。

対話的な学び

- 「出し合う・比べる・まとめる」といった流れで話し合いを行うようにしておき、話し合いが可視化された板書を位置付けることで、互いの意見に目を向けやすくする。

深い学び

- 話し合った過程や内容を教室に掲示しておくことで、みんなの願いとして挙げられた複数の視点に関連付けやすくする。
- それぞれの意見に対する理由や根拠を確認するように促す。

自分の授業に取り入れてみましょう。

Point

話し合う内容の確認

児童自ら課題を見だし、本気で解決したい内容を議題に取り上げるようにしましょう。その際、提案理由等を明確にして話し合えるように示しておくことを大切にしましょう。

Point

話し合いの流れの可視化

話題の中心や賛成意見の数等を黒板に視覚的に位置付けるようにしましょう。その際、色分けをしたり線で結んだりして分かりやすく位置付けておくことで、児童自身が意見を比べられるようにしましょう。

Point

理由や根拠の確認

少数意見を大切にしながら互いの意見を精査して、折り合いを付けた話し合いができることを目指しましょう。その際、それぞれの意見が出された理由や根拠を明確にすることを大切にしましょう。

本時のねらい

提案理由や話し合いの視点を基に、個人の思いや学級にとっての価値に着目しながら話し合いを進め、学級ページを考えることができる。

本時の流れ

児童の学びの姿

教師の手だて

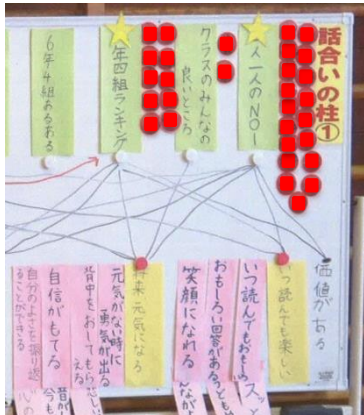
- 1 はじめの言葉
- 2 司会班の自己紹介
- 3 議題「卒業アルバム」の確認
- 4 提案理由やめあての確認
- 5 決まっていること・視点の確認

◎司会班から提案理由や話し合いの視点等が確認されたことを基に、よりよい意見は何かについて考えるという見通しをもつ。

・卒業アルバムは、未来の自分たちを元気にしてくれるものだったな。提案理由を意識して話し合っていくぞ。

◎出された意見とその意見がもつ価値について比べ合う。

・「将来の夢」の意見は、学級ページではなく、「各自のプロフィール」に入れてもいいのではないかな。



◎提案理由等を踏まえて、学級ページの内容を決定する。

・個人的な内容より、学級全体の内容の方がふさわしいと考えを修正したぞ。決定する根拠がみんなの願いに沿っていることが大切なんだな。



主体的な学びの手だて 提案理由や話し合いの視点等を黒板に掲示して確認することで、話し合う内容について共通理解できるようにする。

対話的な学びの手だて 赤色（賛成）の印で児童の意見の可視化を図り、話し合いの状況等を整理された板書で示す。出た意見とその価値を掲示し、線で結ぶように黒板係に伝えておく。

○事前の活動において、司会班とタイムスケジュールを確認しておくとともに、話し合いの流れに応じて重点的に話し合う内容を学級全体で共通理解を図るようにする。

深い学びの手だて 選ばれなかった意見についても、他の内容との統合を検討したり根拠を見極めたりすることを投げかける。

○「先生の話」では、司会を担当した班のがんばりや新たな視点や価値で意見を捉え直すことができた児童を称揚したり、事後の実践に向けて、みんなで協力してよりよい学級ページにしていくことを助言したりする。

話し合いのめあて

自分やみんなにとってより価値のある意見はどれか考えながら発言したり、友達の意見を聞いたりしよう

6 話し合い

7 決まったことの確認

8 話し合いの振り返り

9 先生の話

10 終わりの言葉

※「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は、必ずしも全てが1単位時間の授業で見られるものではなく、単元や題材等、内容や時間のまとまりの中で、実現を図っていくものです。本資料では、1単位時間において三つの学びを支える最も効果的な教師の手だてを精選し、紹介しています。



授業づくりの視点

生徒が学級や学校における生活上の諸問題を見だし、解決方法を決めて実践し、振り返ることで、その取組のよい点や改善点に気付かせるようにしましょう。

学級活動（２）では、生徒の日常生活の実態を捉えた上で教師が身近な題材を設定し、話し合い活動を通して個人目標を意思決定させます。決めたことに粘り強く取り組むことで、自分がした活動やその努力へ自信を深めることにつながります。

授業実践事例

1 題材の概要 よりよい学級生活を送るために〔第1学年〕 学級活動（２）

気持ちのよい学級生活を過ごすために、学級生活のマナーを向上させることについての話し合い活動を行い、自ら実践できる目標を立て、実践し、振り返る題材である。

2 題材を通して育成を目指す資質・能力

知識及び技能

学級生活をよりよくするために、マナーを向上させる意義について考え、個々の意識の向上が学級の意識の向上につながることを理解する。

思考力、判断力、表現力等

学級生活のマナー意識の向上について考え、友達との話し合いを通して様々な考え方や視点に気付く中で、よりよい学級生活を送るための個人目標を意思決定する。

学びに向かう力、人間性等

学級生活のマナーについての考えを深め、気持ちのよい学級生活を送るために積極的に実践し、よりよい自分の姿を目指そうとする。

3 題材のデザイン

本題材の流れ	生徒の学びの姿
○事前の活動 題材の見通しをもつ	◎ アンケートを基に学級生活を振り返り、よりよい学級生活を送るための問題意識を高める。 ・名前を呼ばれても、きちんと返事ができていないことがある。 ・みんなで使うものを大切に扱う意識が低いことがある。
○本時の活動 よりよい学級生活を送るために意思決定する 本時	◎ よりよい学級生活を送るために、お互いのマナー意識とマナーを守ることの意義を考えた上で、個人目標を意思決定する。 ・マナーを意識することで、みんなが気持ちよく過ごせることが改めて分かった。 ・お互いに気持ちよく過ごすために、思いやりのある言動をするぞ。
○事後の活動 意思決定したことを実践し、振り返る	◎ 自分で決めたことを実践し、よりマナーを意識した生活をする。新たな課題や活動の工夫に気付く。 ・みんながマナーを意識して生活すると、お互いに気持ちよく生活できているね。 ・さらによりよい学級生活を送るために、新しい係活動を提案したいな。

○本題材における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

主体的な学び

○よりよい学級生活を送るために、問題になっていることを事前アンケートから把握させることで、マナーの向上について、生徒一人一人の課題意識を高めさせる。

対話的な学び

○話し合いや各班からの発表を通して、友達の見解と自分の意見との共通点だけでなく、相違点も考えさせることで、友達の考えを理解した上で、自分の考えをもたせる。

深い学び

○個人目標の実践は、期間を設けて行い、振り返りでは、問題解決の方法等を工夫させることで、学級生活を送るための新たな問題意識をもたせる。

4 本時の展開

生徒の学びの質を高めるPoint

自分の授業に取り入れてみましょう。

Point

生徒の問題意識を高める

授業の導入では、事前にとったアンケートの結果を基に、生活上の問題を表やグラフ等にまとめたものを提示し、個々の生徒の問題意識を高められるようにしましょう。

Point

話し合いを基に考えを広げる

話し合いでは、自分の意見との共通点だけでなく、相違点についても考えさせましょう。そして、友達の考えを理解した上で、自分の考えをもたせましょう。

Point

問題解決のために深く考える

生活上の課題を解決するために、友達の意見を踏まえて自らの生活を振り返ることで、自分の目標や課題の解決方法等について意思決定させるようにしましょう。

お互いに気持ちのよい学級生活を送るために、マナーについて自分ができることを意思決定し、よりよい学級集団づくりへの意識を高める。

本時のねらい

本時の流れ

めあてを示し、学習の見通しをもつ

めあて
よりよい学級生活を送るために、実践できる個人目標を立てよう

自分のマナー意識について考え、班で話し合う

班で話し合ったことを全体で発表する

個人目標を意思決定する

振り返りと授業後に取り組む活動の確認をする

生徒の学びの姿

◎ アンケート結果を共有し、本時のめあてをつかむ。

- みんな学級生活のマナーを向上させたいと思っているんだね。
- しっかり考えて、気持ちのよい学級生活を送れるようにしたいね。

◎ 自分のマナー意識について考え、マナー意識を高めることの意義を班で話し合う。

- 思いやりをもった言動への意識が低いことがある。
- 自分のものだけではなく、みんなのものも大切にしている。
- マナー意識の向上は、将来に役立つと思うよ。
- 周りの人からの信頼を得ることができるね。

◎ 班で話し合ったことを発表し、学級全体で共有する。

- 気持ちのよい学級生活を送りたいという思いは、みんな一緒だということが分かった。

◎ 自分の学級生活を振り返り、個人目標を意思決定する。

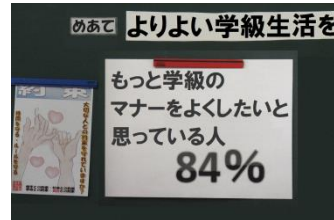
- 相手の気持ちを考えて、言葉遣いに気を付ける。
- 掃除時間以外でも、積極的に教室の美化活動に努めよう。
- 学級の一人一人がマナー意識を高めて取り組んでいけば、みんなが気持ちよく過ごせる学級集団になるんだな。

◎ 本時で学んだことを学級生活で実践していくことを確認する。

- 自分で決めたことは必ず意識して、実践しよう。

教師の手だて

主体的な学びの手だて アンケート結果を基に、学級生活のマナーについての現状を把握させ、問題意識を高める。



対話的な学びの手だて 話し合いを通して、自分の意見と友達の意見との共通点だけでなく、相違点についても考えるよう促し、様々な考え方や視点があることに気付かせる。



- 発表内容をまとめ、学級全体としてマナー意識の向上に向けて共通理解をさせる。

深い学びの手だて 友達の意見を尊重しながら、自分の学級生活でのマナーや態度を振り返らせることで、問題解決の視点をもちやすくし、実践できる具体的な個人目標を意思決定させる。

- 意思決定した目標の実践意欲を高めるために、目標の達成状況を毎日の振り返りにより確認することを知らせ、授業後の活動の見通しをもたせる。